

平成18年度生理研研究会

「痛みの分子メカニズムと治療戦略」プログラム

日時：2006年11月15日(水) - 16日(木)

場所：自然科学研究機構 岡崎カンファレンスセンター 小会議室

(16日午後からの教育講演は 山手3号館2階 大会議室)

提案代表者：仙波 恵美子 (和歌山県立医科大学・医学部)

所内対応者：富永 真琴 (岡崎統合バイオサイエンスセンター・細胞生理)

11月15日(水)

13:00 ~ 開会

13:10 ~ 14:00

座長：伊藤誠二先生

末梢～一次知覚ニューロン

演題：プロスタグランジン EP3 受容体を介したブラジキニン反応の増強は
ブラジキニン B2 受容体の脱感作の減弱による

演者：小崎康子 (名古屋大学環境医学研究所未来環境シミュレーションセンター)

演題：マウス後根神経節におけるInterleukin-31 receptor A (IL-31RA)の発現解析

演者：板東高功 (和歌山県立医科大学第二解剖)

DRG, DR

演題：ラット腰部脊髄神経に対するセロトニンによる疼痛関連行動と後根神経節への影響

演者：加藤欽志 (福島県立医科大学医学部整形外科学教室)

14:00 ~ 15:10

座長：水村和枝先生

DRG、軸索伸長

演題：ヒト椎間板培養細胞が後根神経節由来の軸索伸長に及ぼす影響
-mono layer culture を用いて-

演者：山内かつ代 (千葉大学大学院医学研究院整形外科学)

演題：Dscamの分子多様性は特異的な神経配線のために必要である

演者：近藤真啓 (日本大学・歯学部・生理学教室)

DRG, 脊髄

演題：PACAPシグナル伝達を介したnNOSの機能調節の分子機構 (仮題)

演者：大西隆之 (関西医科大学医化学教室)

演題：脊髄におけるカンナビノイドの鎮痛機序解明：in vivoパッチクランプ記録による検討

演者：木谷友洋 (札幌医科大学医学部麻酔科)

15:10~15:20 休憩

15:20~16:30

座長：津田誠先生

TRPA1

演題：TRPA1 の活性化機構

演者：藤田郁尚（生理学研究所細胞生理部門）

演題：脊髄内痛覚伝達機構に対するTRPA1受容体の生理的役割

演者：小杉雅史（佐賀大学医学部生体構造機能学講座神経生理学分野）

ATP, 後角

演題：脊髄後角におけるP2Y受容体を介する抑制性シナプス伝達の賦活化作用

演者：中塚映政（佐賀大学医学部生体構造機能学講座神経生理学分野）

演題：脊髄内ATP誘発長期持続性アロディニアの誘導および維持機構

演者：中川貴之（京都大学薬学研究科生体機能解析学分野）

16:30~17:20

座長：吉村恵先生

脊髄、ホスホリパーゼA2

演題：ラット脊髄膠様質ニューロンにおける抑制性シナプス伝達のホスホリパーゼA2活性化による促進

演者：熊本栄一（佐賀大学医学部生体構造機能学講座神経生理学分野）

神経因性疼痛、ホスホリパーゼA2

演題：神経因性疼痛における細胞質型ホスホリパーゼA2の関与

演者：長谷川茂雄（九州大学大学院薬学研究院薬効解析学分野）

神経因性疼痛

演題：神経因性疼痛モデルにおける非侵害性Aβ線維過敏応答

演者：松本みさき（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子薬理学分野）

17:20~17:30 休憩

17:30~18:40

座長：矢吹省司先生

RVM

演題：下行性疼痛調整系におけるMAPK活性化

演者：井辺弘樹（和歌山県立医科大学第一生理）

演題：術後痛とオピオイドに対するマウス延髄RVMニューロン機能特性の系統差

演者：杉野繁一（札幌医科大学医学部麻酔科）

気象と痛み

演題：CCI ラットの心循環パラメータと寒冷曝露に対する反応の経日変化

演者：佐藤純（名古屋大学環境医学研究所近未来環境シミュレーションセンター）

演題：気象変化による慢性痛悪化のメカニズムにおける内耳器官の役割

演者：舟久保恵美（名古屋大学環境医学研究所近未来環境シミュレーションセンター）

18:50～ 懇親会

11月16日(木)

9:00～9:50

座長：川真田樹人先生

末梢、炎症

演題：炎症部位におけるN-acetyl-aspartyl-glutamate (NAAG)の役割

演者：山本達郎（熊本大学大学院医学薬学研究部生体機能制御学）

カンナビノイド

演題：新しい鎮痛薬カンナビノイド

演者：小川明子（日本大学歯学部口腔診断学教室）

抗がん剤と痛み

演題：シスプラチンによって引き起こされる痛覚過敏におけるイオンチャネルの関与

演者：堀紀代美（名古屋大学大学院医学系研究科機能形態学講座機能組織学分野）

9:50～11:00

座長：南雅文先生・岩田幸一先生

筋痛モデル

演題：筋障害性慢性痛症モデル動物における筋の組織像

演者：松原貴子（名古屋学院大学人間健康学部リハビリテーション学科）

中枢

演題：痛みによる不快情動生成における分界条床核ノルアドレナリン神経伝達の役割

演者：出山諭司（北海道大学薬学研究院薬理学研究室 / 京都大学薬学部生体機能解析）

演題：CRPS患者は眼-手協調運動が障害されている

演者：住谷昌彦（大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学 麻酔・集中治療医講座）

脳イメージング

演題：仮想痛み刺激と脳内神経活動の検討（fMRI）

演者：池本竜則（仮）（高知大学医学部整形外科教室）

休憩 5 ~ 10分

11:00 ~ 11:30

座長：真下節先生

教育講演（脳イメージング）

演題：MRスペクトロスコピーを用いた慢性疼痛患者の評価の試み

演者：福井弥己郎（聖）（滋賀医科大学医学部附属病院麻酔科・ペインクリニックセンター）

11:30 ~ 12:00

座長：熊澤孝朗先生

教育講演（two-photon）

演題：プリン受容体を介するDRG細胞内Ca反応：2光子励起光分解を利用した時空間分析

演者：中山晋介（名古屋大学・大学院医学系研究科細胞生理学）

12:00 ~ 12:30

座長：井上和秀先生

教育講演（中枢）

演題：慢性疼痛モデル動物扁桃体中心核におけるシナプス可塑性

演者：加藤総夫（東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター

神経科学研究部神経生理学研究室）

12:30 ~ 13:30

昼食

13:30 ~ 15:30

特別講演（所長招聘セミナーと合同：自由参加）

演題：Development and plasticity of inhibitory circuits in the auditory system

演者：Karl Kandler (Associate Prof., Pittsburgh Univ.)

演題：In vivo studies of synaptic and microglial dynamics

演者：Wenbiao Gan (Associate Prof., New York Univ.)

15:30 閉会